

終運報内第一七四號

發 終運五部
受 釧野事務官
時間 七一四〇〇

昭二、五七(火)
渉 外 課

情報 普通配布

各省 連絡 事項

昭和二三、五六
引揚関係各省連絡室

(一) 復

- 一 博多引揚援護局に於て復員者の受けたる取扱の不良なりし事例説明
- 一 船内復員指導員(一復)が一般引揚民に對しても船内に於て援護指導に當る事に關し各引揚援護局と連絡し實施する如く通達済につき承知あり度
- 一 豫報なく入港する船ありて受入上不都合なり、豫報を勵行せられたく、猶豫報し得ざる場合あるに付事情受り度し(除時兼)

(鐵道總局)

一 引揚港別五日現在滯留及輸送狀況

鹿兒島 四日滯留なし 五日上陸四一七即日輸送
博多 五日上陸四六五一即日輸送

0532

佐世保 四日残り一三八〇 五日上陸なし 釧直輸送四四四九 残九九九一

註、厚多支入拭調なる故臨時列車を佐世保に廻し輸送力増強中

仙崎 四日残なし 五日上陸なし 荒天の爲上陸不能、海上汽船八一三八

大竹 四日残六五〇 五日上陸三四九九 輸送なし 残四一四九 六日列車四にて全部輸送の豫定

田邊 四日上陸三九〇〇 五日輸送完

舞鶴 五日滞償なし 未揚陸「リパティール」一隻三三〇〇

天然痘、コレラ發生の爲上陸は十日以後になる見込

品川、名古屋、大阪より十二輛編成の列車運轉中なるも集結状況極めて不良

品川 四月二十九日、八四名 三十日、八二名 五月一日、六九名

名古屋 二十五日、七二名 二十六日、七一各、二十七日、〇名 二十八日、一二八名

大阪 三二乃至五〇〇名 二十九日、〇名 三十日、三二名

一朝鮮人送出現況

一 送還臺灣人輸送状況

五月一日	〇	三二四	多
五月二日	九〇〇	一〇四五	
五月三日	〇	四三八	
五月四日	〇九		
五月五日	一三六		

一 送出華人の集結状況不良なり
 一 五月中旬より約一ヶ月に渉り岡山地方駐屯の米第二四師團九州地方移動の爲五日定期五時

六日	七〇		
五日	九〇		輸送取消
四日	九六〇	七九	九〇〇
		九〇〇	一一九
		九〇〇	

東京發 大坂發
 豫定輸送実績 豫定輸送実績

三計七ヶ列車を輸送に充當す（返り車も一般使用不能）

右の爲、定期列車の一部及復員列車一往復取消

九州—品川間復員列車は五本となる

（海運總局）

一外地相互間引揚輸送（非日本人）時の食糧の準備に困りあり、外地發航地に於て所要量搭載し得る様CLOよりSCAPに交渉されたし

一高級將校、愚者等に關する入港前諜報につきては當方に於ても手配すべきも猶引揚者乗船後船長に要求する如く現地に指令し置かれ度し（前同一復よりの要求に對する解答）

（外務省南方課）

一ジャバの引揚情報少し CLOを通しSCAPに聞かれ度し

（外務省大陸課）

一舊兵舎、軍用地等を引揚民の定着收容歸農のためどの程度保留すべきか見込關係方面で至急調査され度き旨大藏省國有財産課より依頼ありたり

一滿洲、北鮮より引揚の婦女子の檢疫に付、博多、仙崎には血液検査の設備並に検査期間中の宿舍なし

（厚生省）

一朝鮮人送出しの成績極めて不良、この原因につき關東各府縣の事情を擔任せるに稍々原因も主要なるものは

(4) 強制歸還に對する反感
(5) 朝鮮事情悪化
(對策) 既定計畫を協力に推進す

終

0536